

# 島根県の地震

令和5（2023）年7月

・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値です。後日、再調査のうえ修正されることがあります。

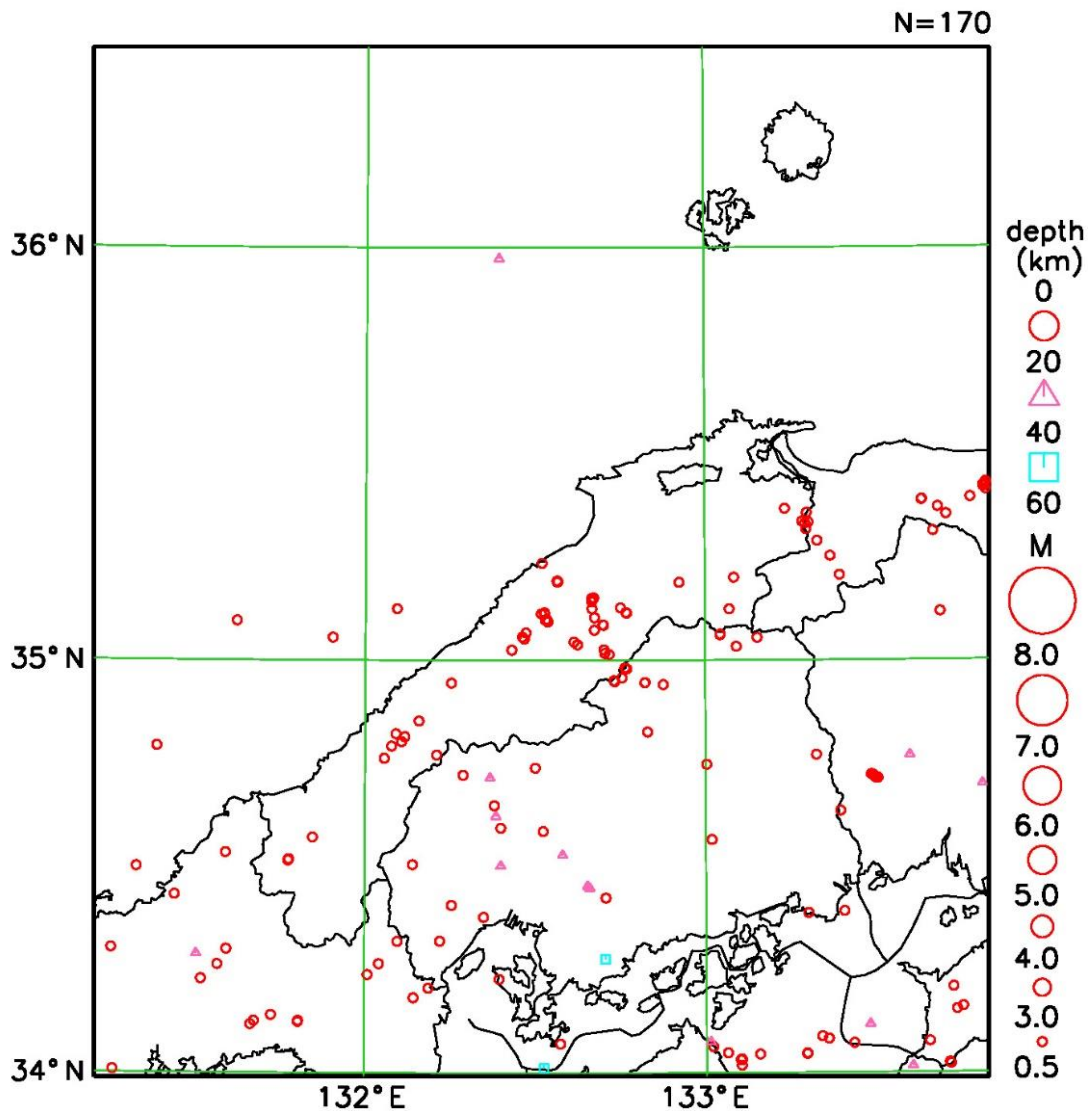
・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松江地方気象台

# 島根県およびその周辺地域の地震活動 2023年7月1日～31日

2023 07 01 00:00 -- 2023 07 31 24:00



## [概況]

今期間、M0.5以上を観測した地震は170回（6月は185回）でした。

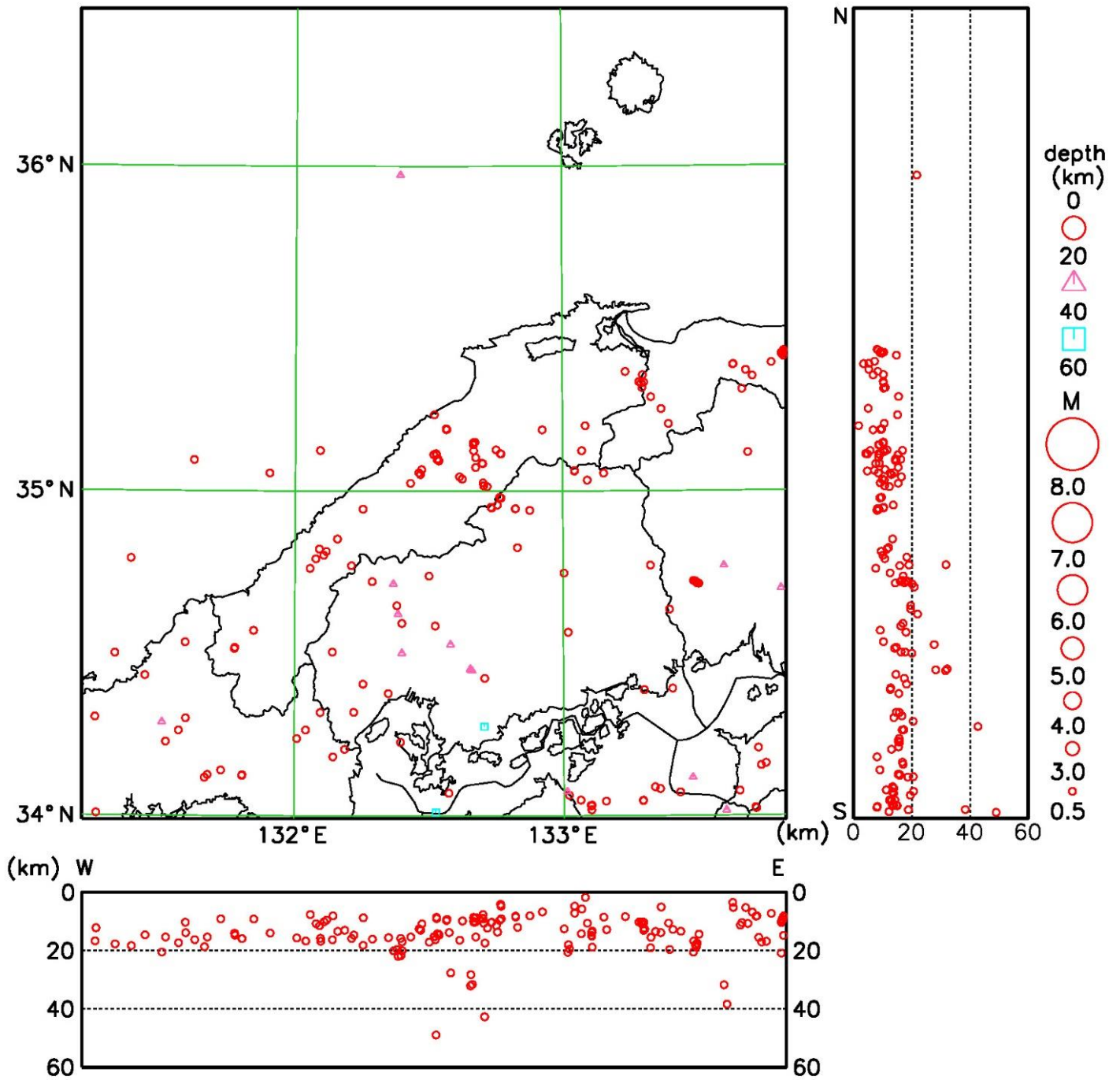
また、島根県内で震度1以上を観測した地震は、2回でした。

22日21時14分 日向灘の地震（深さ37km、M5.0：地図範囲外）により、益田市で震度1を観測しました。また、高知県、大分県で震度4を観測したほか、中国・四国・九州地方で震度3～1を観測しました。

26日21時37分 隠岐島近海の地震（深さ37km、M4.5：地図範囲外）により、海士町・隠岐の島町で震度2を観測したほか、松江市、出雲市、安来市、雲南市、奥出雲町、大田市、川本町、西ノ島町で震度1を観測しました。また、鳥取県、岡山県、広島県で震度1を観測しました。

# [断面图]

2023 07 01 00:00 -- 2023 07 31 24:00



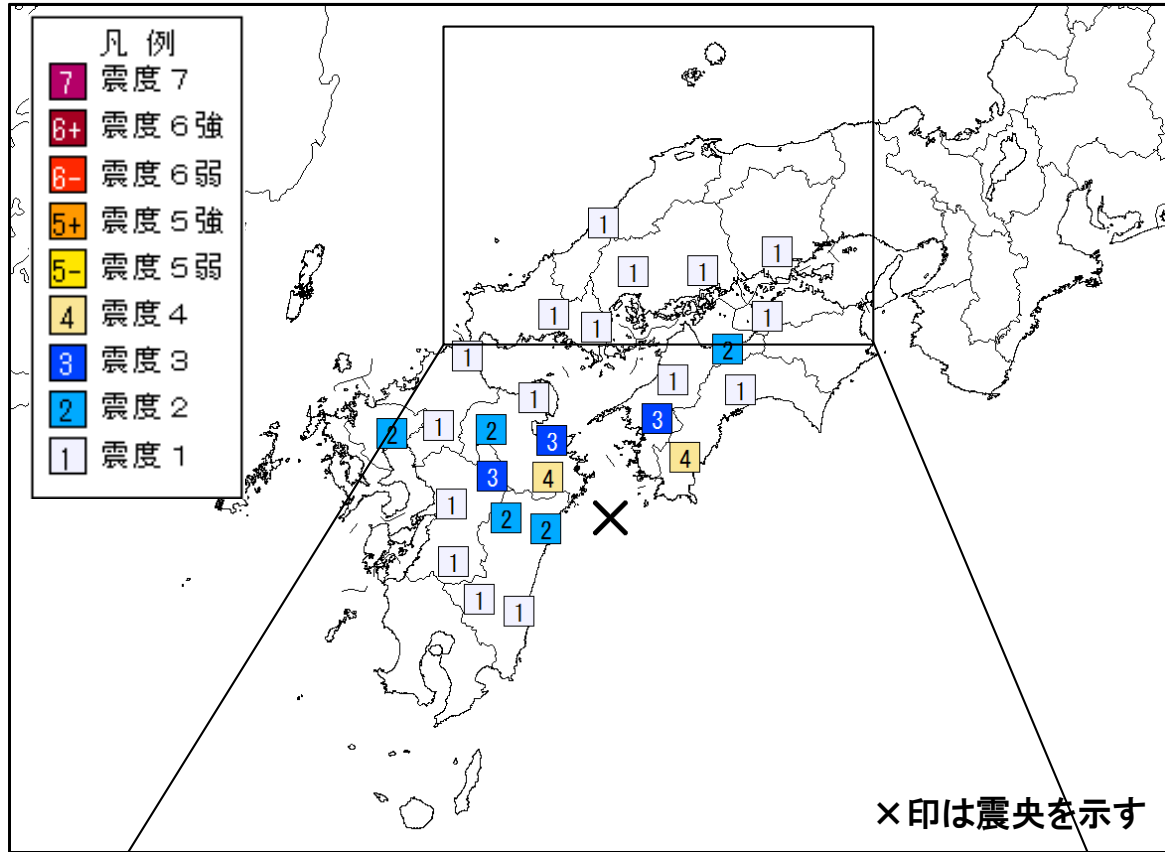
## 7月の島根県内の地震表（震度1以上）

発震日（年月日時分） 各地の震度（島根県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2023年07月22日21時14分 ----- 地点震度 ----- 島根県	日向灘	32° 36.9' N	132° 13.6' E	37km	M5.0
震度 1：益田市常盤町*					
2023年07月26日21時37分 ----- 地点震度 ----- 島根県	隠岐島近海	36° 37.6' N	132° 44.7' E	37km	M4.5
震度 2：海士町海士*，隠岐の島町山田，隠岐の島町下西*，隠岐の島町布施* 隠岐の島町都万*，隠岐の島町北方*					
震度 1：松江市西生馬町，松江市学園南*，松江市鹿島町佐陀本郷*，松江市玉湯町湯町* 松江市島根町加賀*，松江市東出雲町揖屋*，松江市八雲町西岩坂* 松江市宍道町宍道*，出雲市今市町，出雲市坂浦町，出雲市塩冶有原町* 出雲市斐川町上庄原*，出雲市平田町*，安来市広瀬町広瀬祖父谷丁* 雲南市大東町大東，雲南市掛合町掛合*，雲南市三刀屋町三刀屋* 雲南市加茂町加茂中*，雲南市木次町里方*，奥出雲町三成*，大田市仁摩町仁万* 大田市温泉津町小浜*，川本町川本*，西ノ島町浦郷小学校*，隠岐の島町西町					

・地点名の後に\*がついている地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

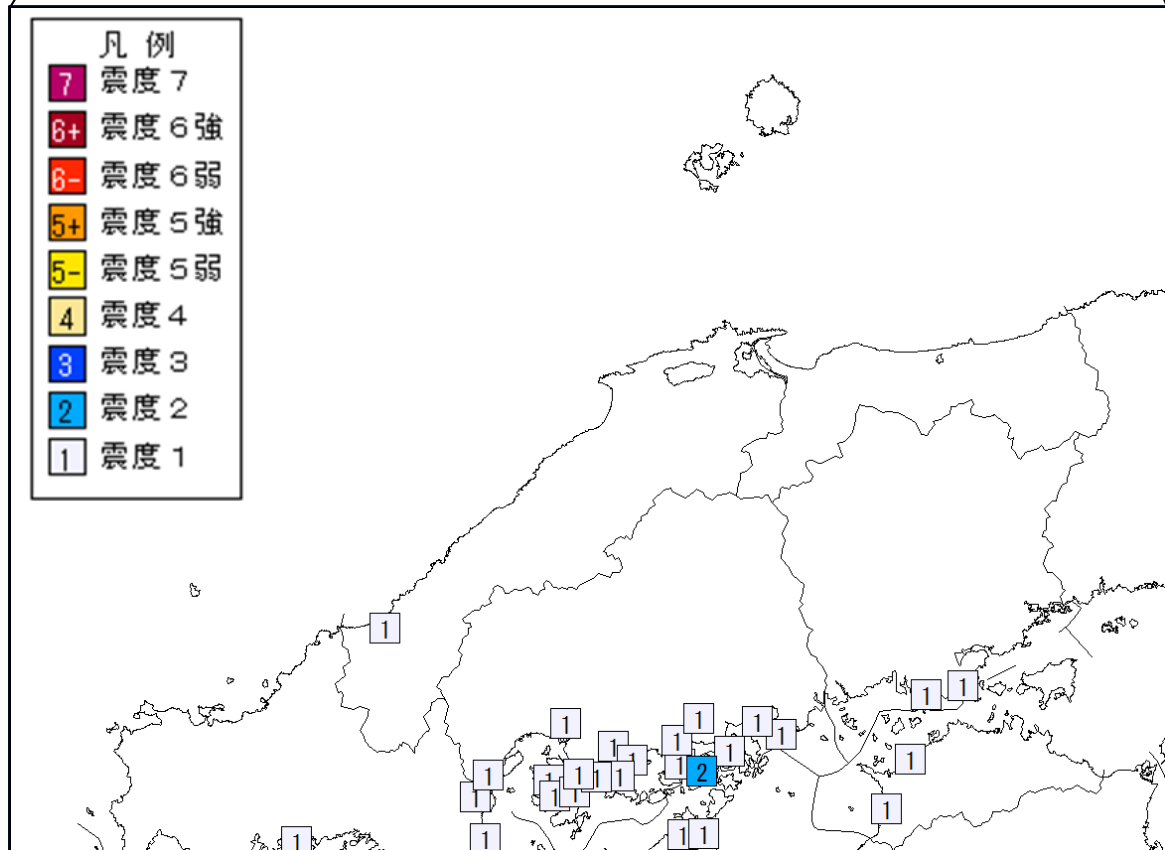
# 【地域震度分布図】

2023年7月22日21時14分 日向灘



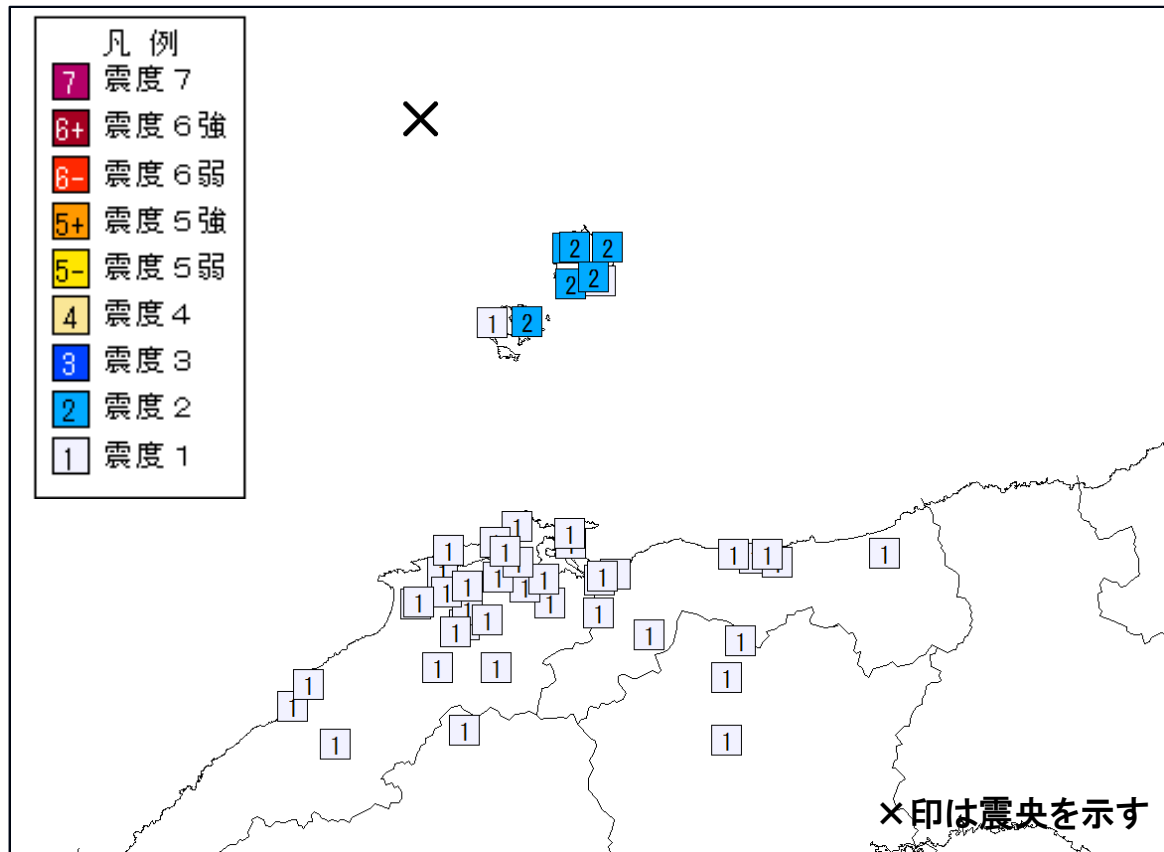
# 【観測点震度分布図】

地域震度分布図枠内拡大図



# 【観測点震度分布図】

2023年7月26日21時37分 隠岐島近海



## 地震一口メモ

### 関東大震災から 100 年、鳥取地震から 80 年

2023 年は、甚大な被害が発生した「関東大震災」から、100 年の節目になります。この地震（大正関東地震）は、1923 年（大正 12 年）9 月 1 日 11 時 58 分に発生しました。地震の規模マグニチュード（M）は 7.9 でした。

この地震により、関東地方では、震度 6 を観測しました。当時の震度階級は震度 0 から震度 6 までの 7 階級でしたが、家屋の倒壊状況などから相模湾沿岸地域や房総半島南端では、現在の震度 7 相当の揺れであったと推定されています。

地震は昼食の時間と重なった事から、多くの火災により被害が拡大しました。津波、土砂災害なども発生し、この地震による災害は「関東大震災」と呼ばれています。

- ◆ 気象庁ホームページに「関東大震災から 100 年」特設サイトがあります  
[https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/1923\\_09\\_01\\_kantoujishin/index.html](https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/1923_09_01_kantoujishin/index.html)



- ◆ 内閣府ホームページにも特設サイトがあります。あわせてご覧ください

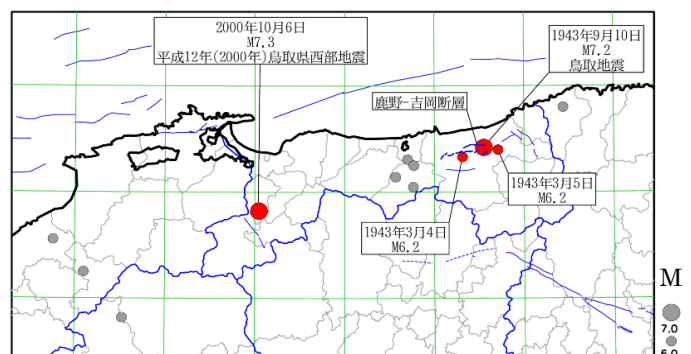


### 2023 年は鳥取地震から 80 年！（1943 年 9 月 10 日 M7.2）

鳥取地震は、鳥取市付近を震源域として発生しました。この地震は、鹿野一吉岡断層の活動に伴い発生し、鳥取市で震度 6 を観測しました。被害は軟弱な地盤が広がる鳥取平野に集中し、死者は 1,083 人、負傷者 3,259 人、家屋全壊 7,485 棟などの被害が生じました。（被害等は、日本被害地震総覧 599-2012 より）

本震後数日間は、体を感じる余震が 1 日に 100 回以上発生しました。この地震に遡ること半年前の 3 月 4 日、5 日に鳥取地震とほぼ同じ場所で、それぞれ M6.2 の地震が発生しています。どれも陸域の浅い場所で発生した地震で、「平成 28 年（2016 年）熊本地震」や「平成 12 年（2000 年）鳥取県西部地震」も同じタイプの地震です。

地震は、いつ発生するかわかりません。過去を知って備えましょう。



震央分布図 1919 年～2022 年

図中の細線は、地震調査研究推進本部による活断層

- ◆ 鳥取地方気象台では過去の災害を振り返り地震への備えを改めて確認していただきますよう、鳥取地震の特集ページを公開しています。  
[https://www.data.jma.go.jp/tottori/disaster/1943tottori\\_jishin/index.html](https://www.data.jma.go.jp/tottori/disaster/1943tottori_jishin/index.html)

